



中高生とともに差別と闘う

『すごくしんどい』

吉成タダシ (うずしおランチ代表)



何でも許されるわけではない

中学生を対象にした「人権を語り合う中学生交流集会」(以下中学生集会)を立ち上げて、今年で二十五日目。二百人程度のこぢんまりとした集会ですが、人権学習が中学校や県で、その色合いに違いがあることがうかがえ、子ども達にとっても、私たち大人にとっても、毎年すごく刺激的な場となっています。

昨年の中学生集会も、部落差別やいじめ問題、ヲタクへの偏見と、実に様々なテーマが飛び出してきたのですが、なかでも障がい者問題について出された意見のやりとりは、今を生きる子ども達の現実を突きつけられたようで、すごく考えさせられました。

発端は、「さつきからみなさんが言っている意見と逆になってしまってますけど」といった、何やら物議を醸し出したような中学生の前置きから始まりました。

「障がいのある子がいじめられていたら助けると思うんですけど、障がいのある子が障がいがあるからといって、何でも許される訳ではないと思うんですよ。」

現にボクが、自衛隊の船を見に行った時の話なんですけど、ボクが普通に機関砲を見たくて並んでいたんですけど、障がいのある子が後ろから来て、ボクの足を踏んで、障がいがあるから優先されるかのようにしていたんですけど、これはちょっとおかしいのではないかとボクは思いま

した。

障がいがあるから逆に何でも許されるかと思ったら、常識ってものがあると思うんです。だから逆に、いじめられていたら何でもしていいんじゃないと思うんです。

ボクもいじめられたことがあったけど、今は逆に仲良くなっている友達が出て、その子に「高校にいじめられたくないんですよ。関係をよくしたいから。」

だから、被害を受けているからといって被害を与えた人に逆に何でもしていいかと思ったら、そうではないとボクは思うんです」

差別をされた痛みを知っているからこそ、差別はしない。だから差別を見つけたら、断固として闘う。それはそうなのですが、この場合は、聞いていてどこか気持ち悪さが残りました。

すごくしんどい

それに対して、大学生のOGがささず反応します。

「すみません。今さつき、障がい者の話が出たと思うんですけど、ちょっと正直言いますと傷つきました。この場って、人を傷つけるためのものではないって言うことはみなさん分かってると思うんですけど。」

正直、障がい者だから何でも許される訳ではないことは、私も分かっている部分はあるんですが、そういうことではなくて。

私自身にもダウン症の弟がいるんです。何でも許されるわけではないのは分かっているんですけど、でも、そういうふうにつまみかかっている部分があったのがすごくしんどくて。その子だって悪気があってしている訳ではないのに、やっぱり周りの人から見たら、そういうふうに見える部分があるすごくしんどくて。

何でも言ったらいいんだろ。その子も本当に悪気があるのではないので、悪いことをすれば『ごめんなさい』って言わなければいけないのは承知してるんですけど、そういう子たちもことちゃんとか分かってから、そういう意見を言っただけでいいんじゃないかなって思っています。すみません」

発言を返した大学生のOGは、涙をこらえながら語り、訴えました。

この子の気持ちも分かる。けど、先の中学生の気持ちも分かる。どこにどう落とし込んでいけばいいのかわからないまま、また別の子が言葉を返していきまます。

かかわること

「さつきの話を聞いてなんですけど。」

私の友達の弟も何かの障がいがあるんですけど。その子とよく遊んでいて、その子が遊び終わった後片付けをしなかったことがあったので、それは私も駄目だなと思って、その子のために教えてあげたいいなと思っただけです。

片付けしなければいけないことも当たり前なことだけど、もし、その

子にそれを教えないまま私一人で片付けていたら、その子が大人になった時にみんなと違うことをして、周りから『なんだろあの子』って、いやなふうに見えるのはかわいそうだし。その子もいやだと思ってる。そんなことを思われたいようにするために、本人は分らないかもしれないけど、教えてあげなければいけないと思っただけ。

さつきの、足を踏んで先に入ってしまった子のことは、『それは駄目だよ』って優しく教えてあげればよかったんじゃないかなと思う。傷つくっていうんじゃないで、そこは優しく言っただけでその子が納得するように、もっと気付けてあげられるんじゃないかと思っただけ。

聞いていて、胸のつかえが少し降りたような気がしました。

つまり、相手のことがよく分からないままに、本人のいないところで、自分勝手な判断でとかやく言っただけでも何も始まらない。まずは相手が何故そういう行動をとったのか、関わる場所からすべては始まっているのではないかと意識することが大事。

けどこういうことは、私たちの身の周りではよく起こっている現象です。よく知りもしないのに、一方的に相手のことを決めつけて判断し、人のことを悪く言ってしまうというのと。差別問題云々以前の問題として、日常的に起こっているのではないのでしょうか。

発言はまだまだ続いています。